



施設の管理運営方法や組織を検討しました

10月30日（火）、交流センターで第4回ワークショップを行いました。

今回のワークショップのテーマは、施設の管理運営の方法や組織について、利用者や市民の視点で考えることです。

前半は、前回までの話し合いで出された提案や意見を踏まえて整理された各施設の管理運営のコンセプト（事業方針）案の説明を受けた後、グループで意見交換を行いました。

機能間の連携の重要性、効率的な管理運営の実現などを指摘する意見が出され、これらの意見を取り入れ、最終的な事業方針としてまとめられます。



【事業方針案について見交換】

安心、利便性、多くの人に関わる視点から望ましい管理運営を提案

後半は、複合施設の各施設の望ましい管理運営方法や運営組織について、話し合いを行いました。

想定される管理運営方式とその長所や短所の説明の後、管理運営を考えるうえで、“人材育成”の視点や“市民が主体的に関わる”といった視点の重要性についてアドバイスを受け、グループで検討を行いました。

市民センターは、現在の花輪地域づくり協議会への指定管理の継続が望ましいという考えが多く、そのうえで指定管理者が施設使用料を独自に活用できる仕組みの提案などがありました。

また、子育て支援施設は、保育などの専門的な業務が求められ、安心して託児、子育て支援を受けるためには、現状の管理運営が支持されました。

図書館は、十和田図書館との関係から、現在の直営（一部業務委託）を基本とする考えが出された一方で、指定管理への移行を目指したほうが良いとの考えも示されました。

新設の文化ホールの管理運営方法については、ノウハウが必要で、魅力的な事業を展開していくためにも、民営が望ましいというのが共通した考えとなりました。

また、運営する組織を考えるなかでは、市民を育てていくこと、地元の人材の雇用に結びつくことを望む意見のほか、管理の一元化や機能間連携ができる組織体制の必要性が指摘されました。

次回は、市民主体の運営に向けた事業企画とその実現方法について検討を行います。



【グループの話し合いの結果を発表】



【各グループの発表を聞きながら共有】

◆これからのワークショップは次の日程で開催します◆

■ 第5回「市民サポートの提案」

11月29日（木）午後6時30分【場所：鹿角市交流センター】

ワークショップへの参加は途中からでも可能です。参加ご希望の方は下記担当までお問い合わせください。

このニュースへのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

政策企画課政策推進班

TEL 0186-30-0292

学習文化交流施設

検索

E-mail : seisaku@city.kazuno.lg.jp

FAX 0186-30-1122